

「思考の設計図」の見方・作り方



「思考の設計図」は、「読み解く力」の三つのプロセスを生徒が意識できるような要素を取り入れ、思考の過程を可視化するためのツールです。
そのまま使っても、普段お使いのワークシート等に要素を追加しても御活用できます。
ここでは「思考の設計図」の見方や作り方について御説明します。ぜひ御活用ください。

「思考の設計図」等のデータはこちら

滋賀県総合教育センター
ホームページ 研究成果情報

(<https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1705995614701/index.html>)



生徒が自分の考えを記述する欄

生徒が「読み解く力」の三つのプロセスを意識しながら考えを形成できるように、生徒が記述する欄をいくつかの段階に分けて設定します。
モデルでは三つのプロセスに合わせて、「思考の素材」「思考の加工」「思考の組立て」という三つの段階を設けました。

友達からの助言を生かして、加筆・修正することも効果的です。

思考の設計図《書くこと》

テーマ 例 投書を書こう

単元の目標 例 読み手を意識して文章を整える



思考の組立て

マナーとは何だろう。普段、ニュースなどで若者のマナーが悪いと言われていることをよく見かける。
私は、図書館や電車、バスの中ではうるさくしないように心掛けている。
そうすることで、お互いに気持ちよく過ごせるからだ。
マナーとは、お互いが気持ちよく過ごすために必要なことなのだと思う。
よいマナーが広まれば、みんなが住みやすい社会に近づくのかもしれない。



③再構築



自分で読み返してみても、あるいは友達に読んでもらって伝わりにくいと感じたところはないかな？
もっとよい表現にできることはないかな？
足りないところは前の段階に戻って補ってみよう。



思考の加工

良いマナー、悪いマナーとは何か。
マナーとはお互いが気持ちよく過ごすために必要なこと。

読んだ人がわかりやすいように、
具体例があるとよいと思います。



②分析・整理



集めた素材で、どのように組み立てようかな？
どういう順番にすると伝わりやすいかな？
読んだ人に納得してもらえるような構成になっているかな？
表現を工夫してこだわりたいポイントはないかな？



思考の素材

マナーに関するニュースをよく見る。
…若者のマナーが悪いと言われる。
あいさつをしない。マナーとは思いやり？優しさ？
優しくされるとうれしくなる。
公共の場所ではうるさくしない。



①発見・蓄積



資料から読み取ったことで自分の考えの根拠になりそうなもの、これまでの自分の経験・体験、友達からもらったアイデアなど表現しようと思うことをたくさん集めよう。

「読み解く力」の三つのプロセス

生徒が「読み解く力」の三つのプロセスを意識して考えを形成できるように、各プロセスを配置します。

ヒントメッセージ

生徒がそれぞれの段階で記述する内容の手がかりとなるように、指導事項を簡単にまとめたり、評価の視点を想定したりします。

「読み解く力」の三つのプロセスを意識し三つの段階に分けていますが、生徒の思考は必ずしもこの順番で形成されるとは限りません。生徒が必要に応じて三つの段階をいつでも行き来できるように、1枚のワークシートもしくは1連のデータの形で作成することが効果的です。
また、そのような形にすることで、生徒がどのような過程を経て考えを形成していったかを指導者は見取りやすくなります。